

2022 年度

杏林大学保健学部実験動物施設部門

動物実験に関する関連情報

I. 飼養及び保管の状況

1) 動物種

哺乳類

2) 動物数

動物種	飼養数	飼養匹数（概数）
マウス	171 ケージ	855 匹（平均 5 匹/ケージ）
ラット	67 ケージ	335 匹（平均 5 匹/ケージ）
スンクス	1 ケージ	3 匹（平均 3 匹/ケージ）
計	239 ケージ	1193 匹

2023 年 3 月 31 日 集計

3) 施設の情報（機関の長によって承認された飼養保管施設の総数並びに主要な飼養保管施設の名称）

ア 飼養保管施設の総数：2

イ 主要な飼養保管施設の名称：杏林大学保健学部実験動物施設

II. その他

1) 2022 年度の実験計画書の年間承認件数

24 件

2) 2022 年度の教育訓練の実績

オンラインで随時実施、学生 44 名、教員 2 名、合計 46 名が受講

3) 動物実験委員会

2022 年度の委員の構成

2022 年度の動物実験委員は機関の長たる学長が「動物実験に関して優れた識見を有する者」、「実験動物に関して優れた識見を有する者」、「その他学識経験を有する者」にそれぞれ該当する者を杏林大学保健学部の教職員 8 名を選出した。